

カウンターのお仕事

第4回目の講義は「カウンターの仕事」について学びました。最初は、図書館の1日の仕事について、話を聞きました。カウンターでの仕事と言えば、貸出と返却のあの「ピッ」とやる作業を思い出すはずです。

しかし、カウンターでの仕事はそれだけではないのです！返ってきた本を本棚に返す「排架」という作業、前回の講義で学んだ調べ物のお手伝いをする「レファレンス」、予約やリクエストの対応など他にもやることです。図書館にない本の場合には、県立図書館や他の図書館から本を取り寄せて貸出もします。

このように、本を利用者に届けることが私たち司書の仕事なのです。



排架の様子です。
きちんと返せたかな？

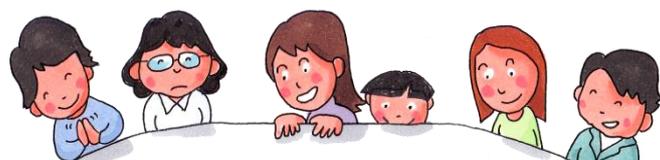


次は皆さんお待ちかねのカウンターの仕事にチャレンジです！貸出返却のやり方を聞いて、実際に利用者の方の対応をしました。少し緊張していたようでしたが、すぐにやり方を覚えて貸出返却の処理ができていました。また、排架にもチャレンジしました。これにはみんな苦労していたようで、毎日この作業をしている私たち職員に感動していました。この排架の作業がきちんとなされていないと、本を探すことができません。学校でも同じ分類で本が並んでいるので、今回感じた大変さを忘れずに、読んだ本は正しいところに返してくださいね。

講義にまつわる おすすめ本



『図書館のひみつ』
PHP 研究所 2016年
司書の仕事の内容
や日ごろ見られな
い図書館の裏側も
紹介されています。



次回のお知らせ

【第4回】7月28日(土)

10時～12時まで

内容:本はどうやってできているの？
めざせ！本のお医者さん

<編集後記>

担当：対馬

「ピッ」とやるのだけがカウンターの仕事ではないことを知ってもらうことができよかったです。みんなが苦労していた排架は、学校の図書室でもできます。ぜひチャレンジしてみてくださいね。

認定後の活動としてカウンターの仕事を実施する予定なので、楽しみにしていてください！